

令和7年度入学試験問題(前期日程)

総合問題<教育学部>

(120分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で22ページあります。また、問題冊子とは別に解答用紙4枚(その1～その4)、下書き用紙(白紙)2枚が配付されます。
3. 解答開始後、すべての解答用紙指定欄に受験番号、名前を記入しなさい。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
5. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

I

次の文章を読んで、後の問1～問5に答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

出典：瀬川拓郎「コラム② 黄金の民・アイヌ」中川裕『アイヌ文化で読み解く「ゴールデンカムイ」』電子書籍版 集英社、2019年（一部改変）

（注1） 「ゴールデンカムイ」：野田サトル原作の長編漫画作品。

（注2） 『塩尻』：尾張藩士で国学者の天野信景さだかげ（1663～1733年）の随筆。

問 1 下線部(a)～(d)について、カタカナは漢字に、漢字はひらがなに直して答えなさい。

問 2 次の①～⑤は、下線部(1)と下線部(3)の間に起こった出来事である。①～⑤が発生した順番に正しく並べられているものを、選択肢(ア)～(オ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

①南下政策を進めるロシアが、ギリシャ正教徒の保護を口実にしてオスマン帝国領内に侵攻したことで、戦争が勃発した。これに対しイギリスとフランスがオスマン帝国を支援して参戦した。

②オランダ統領ウィレム3世は、議会と対立しプロテスタントを迫害したジェームス2世を退け、自身の妻でジェームス2世の娘のメアリ2世とともに議会在提出した権利宣言を承認した。これにより、ウィレム3世はウィリアム3世としてメアリ2世とともに王位に就き、権利宣言を権利章典として制定した。

③ヨーロッパ諸国の代表がウィーンに集まり、ナポレオン戦争後の国際体制について話し合った。最終的には議定書が調印されたことで、正統主義を原則として、大国の勢力均衡による国際秩序の平和的な維持が追求されることになった。

④アメリカにおいて奴隷制度の拡大に反対する共和党のリンカンが大統領に当選すると、これに反対する南部の州が合衆国から離脱し、アメリカ連合国を結成した。その結果、北部と南部の間で戦争が勃発した。

⑤徳川慶喜による大政奉還を受け、討幕派はクーデターによって明治新政府の樹立を宣言し、王政復古の大本令が発せられた。新政府は徳川慶喜に対して辞官納地を命じたが、これに反発した旧幕府側との間で戦争が勃発した。

【選択肢】

- (ア) ②→③→①→⑤→④ (イ) ②→③→①→④→⑤
(ウ) ①→②→③→⑤→④ (エ) ①→②→③→④→⑤
(オ) ②→③→④→⑤→①

問 3 下線部(2)に関連して、次の(ア)～(オ)は本文中の記述を抜き出したものである。このうち、近世アイヌの様子を説明したものをすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) 砂金と銀を多くもっており、それで和人からコメや綿布などを買っていた。
- (イ) 金を求めて一帯をくまなく探査し、道東太平洋側にはほとんどない産地をようやく探し当てた。
- (ウ) 地元で産する金と馬のほか、高価な矢羽であるオオワシの羽と、武具などに用いる海獣皮^{かいじゅうひ}という北海道の産物を富の源泉としていた。
- (エ) 海辺に打ち寄せた砂金を取り、それで津軽の和人と交易している。
- (オ) 軍資金として2万貫(75トン)、現代なら8000億円に相当する莫大な金を蓄えた。

問 4 下線部(4)について、「この場所」は次の図1中のどこにあたるか。本文から読み取れるもっとも適切な地点を図内の(ア)～(オ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

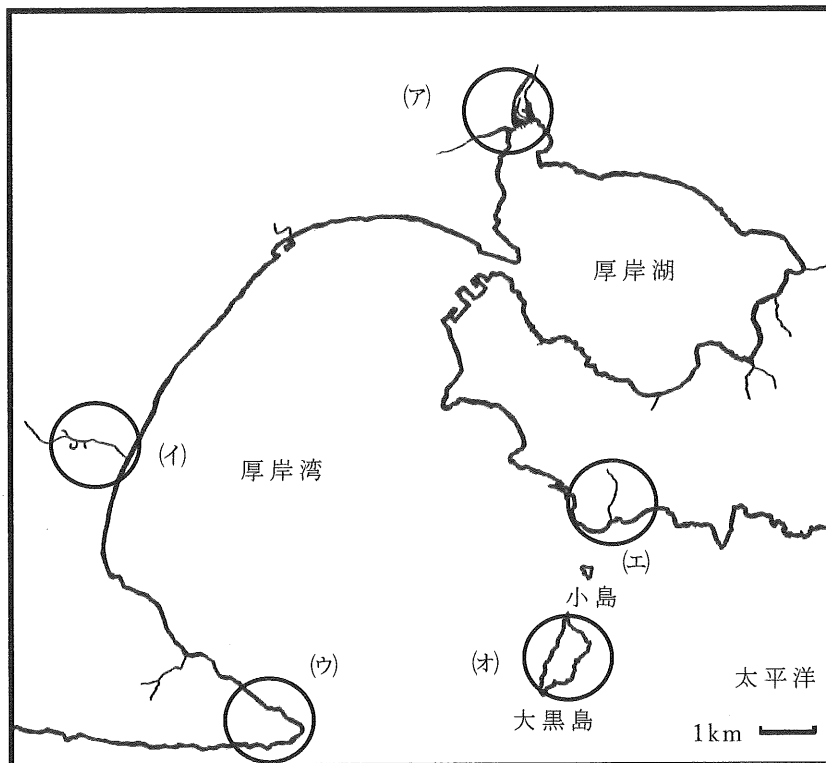


図1 厚岸湾周辺地図

問 5 下線部(5)のように、筆者が結論づける理由として適切なものを、次の(ア)~(オ)の中からすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) アイヌは予想をはるかに超える砂金採掘の専門的集団であり、ゴールドラッシュの熱に浮かされて高価な金を大量に手にしたことが推測されるから。
- (イ) 武四郎の記録によって、探検家・フリースが残した、近世初期に千島のアイヌが砂金の精錬までおこなっていたことを示唆する記事に、信憑性が出てきたから。
- (ウ) アイヌが金を採掘していた記録はほとんどないが、北海道は現在でも有数の金の産地だから。
- (エ) イギリス東インド会社のセーリスの記録や、江戸時代中期の随筆『塩尻』には、アイヌが採掘した大量の金が和人とアイヌの一大戦争の資金源になっていたことが記録されているから。
- (オ) 全国の金産地を調査している専門の研究者が、金の空白地帯とされる厚岸付近の沿岸は金の産地であったという論文を発表しているから。

Ⅱ 次の英文は、太平洋ゴミベルト (Great Pacific Garbage Patch) について論じたものである。文章を読んで、後の問 1～問 5 に答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

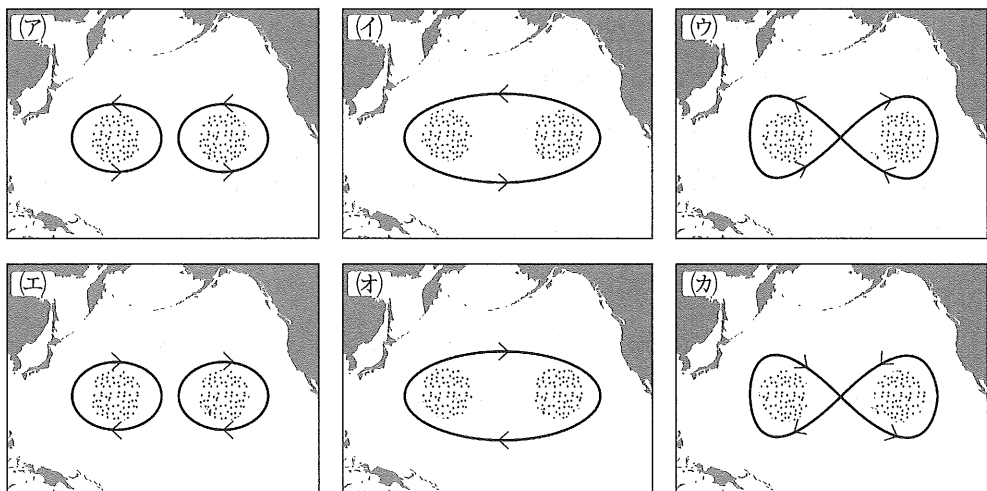
著作権保護の観点から、公開していません。

出典：National Geographic, Great Pacific Garbage Patch, 2024.

(<https://education.nationalgeographic.org/resource/great-pacific-garbage-patch/7th-grade/>) (一部改変)

- (注) debris : 破片、がらくた litter : くず、ゴミ
 end up... : 最後は…となる span : 及ぶ
 be bounded by... : …に囲まれている
 North Pacific Subtropical Gyre : 北太平洋旋廻
 swirling : 渦をまいた discard : 捨てる
 North Equatorial Current : 北赤道海流
 vortex : 渦 accumulate : 蓄積する
 biodegradable : 生分解可能な summons up : 想起させる
 seafloor : 海底 durability : 耐久性
 biodegrade : 生分解する
 Styrofoam : スタイロフォーム(発泡スチロールの一種)
 dedicated : 取り組んでいる scoop : すくい上げる
 disposable : 使い捨ての

問 1 本文で述べられている太平洋ゴミベルトを図解したものとしてもっとも適切なものを、次の(ア)~(カ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。ただし→は北太平洋旋廻の流れの方向を、●●●●は Eastern Garbage Patch と Western Garbage Patch のおおよその位置を表すものとする。



問 2 下線部(1)は比喩表現である。これを説明したものとしてもっとも適切なものを次の(ア)~(エ)の中から1つ選び、記号で答えなさい。

(ア) 釣具や靴などの大きなゴミが集まっているため、まるで具でいっぱいのスープのようである。

(イ) 海洋ゴミが集積して複数の島を形成するため、まるで具が点在するスープのようである。

(ウ) 非常に小さなプラスチックを含むゴミが集まっているため、まるで濁ったスープのようである。

(エ) 海洋ゴミは沈んでいて肉眼では見えないため、まるで透明なスープのようである。

問 3 に当てはまる英文を()内の語句を並べかえて作成しなさい。

(it's being / mean / used in / that)

問 4 以下の文章は、筆者が下線部(2)のように考える理由を説明したものである。

~ に入る文を、それぞれ8字以内の日本語で答えなさい。

多くのマイクロプラスチックは、海の小さな生物と なので、海洋ゴミをすくうように設計された網は、これらの生物を しまう。海洋ゴミだけをすくい取る網ができたとしても、 ため、回収するには時間がかかりすぎる。

問 5 本文の内容と一致するものを次の(ア)～(カ)の中からすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) 太平洋ゴミベルトの海洋ゴミは、海流によって常に移動している。
- (イ) マイクロプラスチックは海洋中で徐々に小さくなり、最終的には生分解される。
- (ウ) 海洋ゴミの半数以上は、最終的に海底に沈む。
- (エ) 海洋中のプラスチックゴミには、海洋由来のものと陸上由来のものがある。
- (オ) 太平洋ゴミベルトは、多くの国の海岸線の近くにあるにも関わらず、それぞれの国は積極的に対策を行っていない。
- (カ) 科学者は、太平洋ゴミベルトを一掃するには、ゴミを取り除くよりも使い捨てのプラスチックを制限したり禁止したりするほうが良いと考えている。

(次ページにも問題があります。)

Ⅲ 次の気候変動問題に関する文章を読み、図1および表1を見て、後の問1～問6に答えなさい。

気候変動問題は今や「気候危機」とも言われていて、私たち一人一人、この星に生きる全ての生き物にとって避けることができない、喫緊の課題です。既に世界的にも平均気温の上昇、雪氷の融解、海面水位の上昇が観測され、我が国においても平均気温の上昇⁽¹⁾、大雨、台風等による被害、農作物や生態系への影響等が観測されています。

この地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015年に①協定が採択され、世界各国が世界共通の長期目標として、世界的な平均気温上昇を工業化以前に比べて2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求することや、今世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡⁽²⁾を達成することなどを合意しました。この実現に向けて、世界が取組を進めており、120以上の国と地域が「2050年②」という目標を掲げています。

出典：環境省『環境白書／循環型社会白書／生物多様性白書(令和5年版)』、2023年
(一部改変)

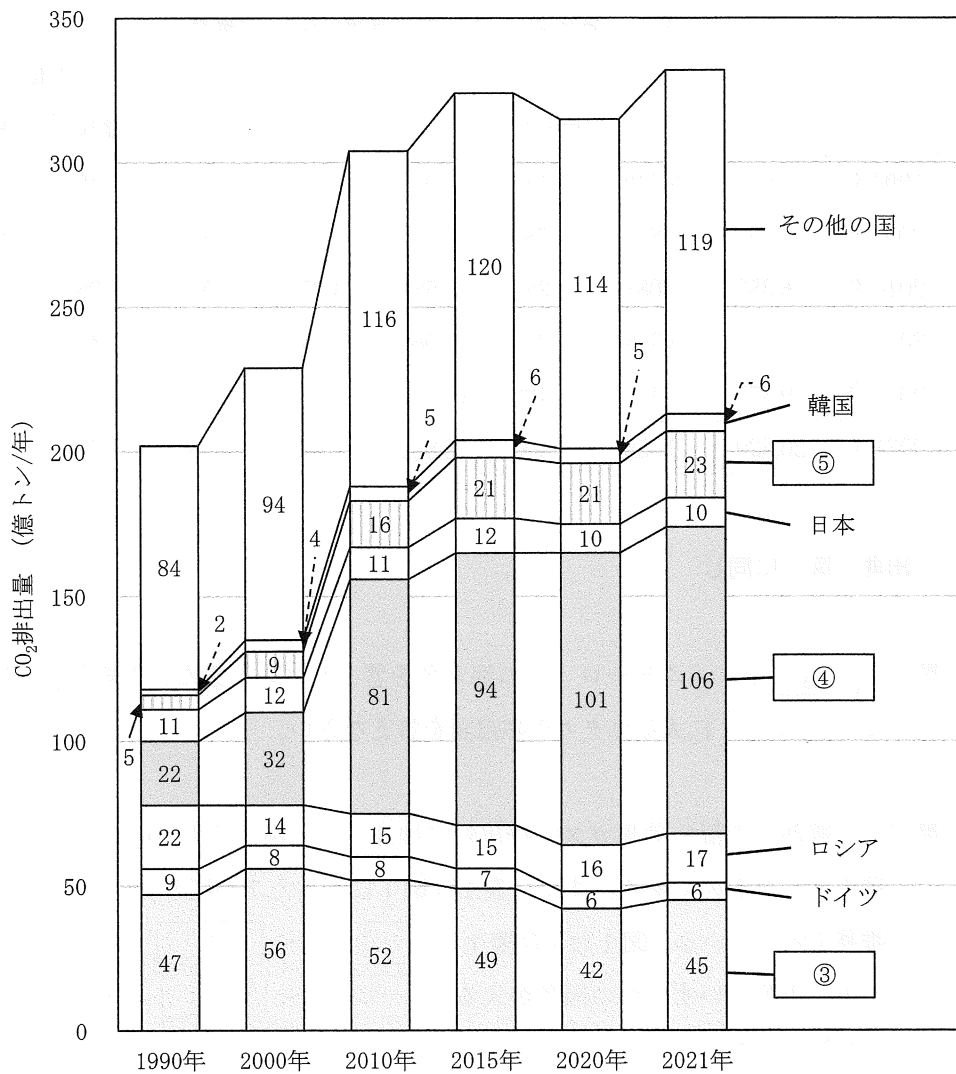


図1 世界のCO₂排出量の推移

(注) 図中の数値は小数第1位を四捨五入して整数化した値。

出典：一般財団法人日本エネルギー経済研究所計量分析ユニット『EDMC/エネルギー・経済統計要覧(2024年版)』理工図書、2024年をもとに作成

表1 各国および世界の実質 GDP の推移

(十億米ドル)

	③	ドイツ	ロシア	④	日本	⑤	韓国	世界
1990年	9,811	2,342	1,161	1,027	3,510	475	402	35,916
2000年	13,754	2,835	780	2,770	3,987	817	799	48,229
2010年	16,383	3,088	1,251	7,554	4,219	1,567	1,261	64,773
2015年	18,206	3,358	1,363	11,062	4,445	2,147	1,466	75,055
2020年	19,377	3,464	1,423	14,617	4,363	2,560	1,627	81,626
2021年	20,529	3,555	1,490	15,802	4,435	2,782	1,694	86,438

出典：図1に同じ

問1 に入るヨーロッパの都市名を答えなさい。また、下線部(2)に関連して、 に入るカタカナの用語を答えなさい。

問2 下線部(2)の温室効果ガスの排出量に関連して、図1は世界のCO₂排出量の推移を示したものである。また、表1は図1に示した7か国と世界の実質GDPの推移を示している。図1および表1の ～ にはアメリカ、インド、中国のいずれかの国名が入る。 ～ に入る国名をそれぞれ答えなさい。

問3 図1より世界のCO₂排出量は1990～2015年までは増加傾向であるが、2020年では減少している。しかし、2021年の世界のCO₂排出量は2020年と比較して増加した。2021年の世界のCO₂排出量は2020年と比較して何%増加したのか、図1中の数値を用いて計算し、小数第2位を四捨五入した小数第1位までの数値で答えなさい。また、増加した理由を、表1から読み取れる内容と当時の社会情勢を考慮して50字以内で答えなさい。

問 4 以下の図2は、図1および表1中の7か国のうちの6つの国について、CO₂排出量と実質 GDP の関係を示した散布図である。散布図の作成に当たっては、図1および表1中の数値をもとに、各国の1990年の値を100とした相対値で示している。(ア)~(カ)のうち、日本および韓国を表す散布図をそれぞれ選び、記号で答えなさい。

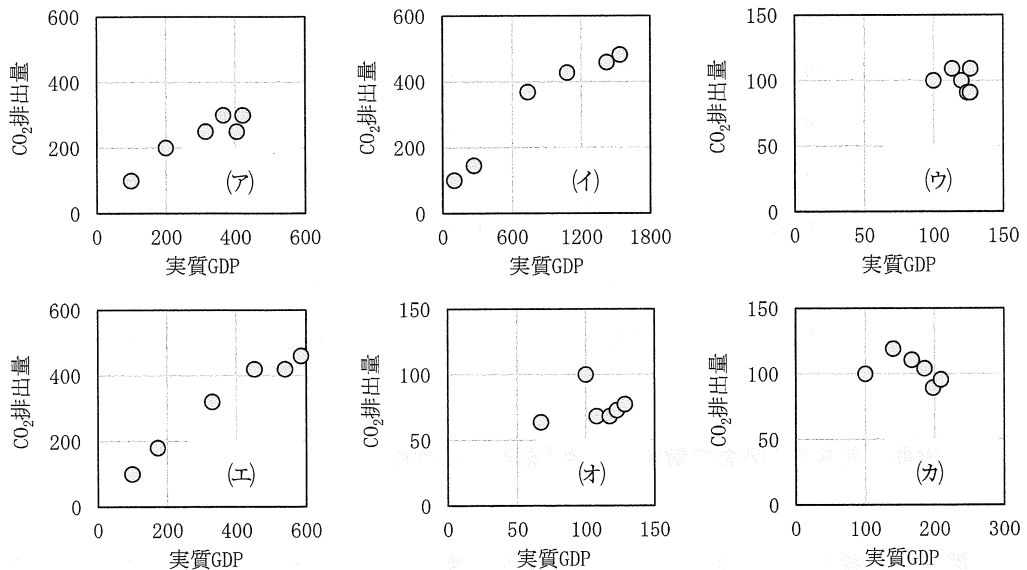


図2 CO₂排出量と実質 GDP の関係

問 5 下線部(1)に関連して、日本国内の4地点(札幌、東京、福山、那覇)における年平均気温の推移を確認することとした。以下の表2は2011~2020年の10年間の4地点の年平均気温である。次の(ア)~(エ)の内容が表2から読み取れる内容として、適切ならば○を、不適切ならば×を、それぞれ答えなさい。なお、(ア)~(エ)の文中の数値は、小数第2位を四捨五入した値である。

- (ア) 福山と那覇を比較すると四分位範囲は同じであるが、標準偏差は那覇の方が大きい。
- (イ) 範囲がもっとも大きいのは東京であり、もっとも小さいのは福山である。
- (ウ) 札幌と福山の中央値の差は6.4℃である。
- (エ) 札幌と東京の平均値の差は6.9℃である。

表2 各地点の2011～2020年における年平均気温

(℃)

	札幌	東京	福山	那覇
2011年	9.3	16.5	15.6	22.9
2012年	9.3	16.3	15.5	23.0
2013年	9.2	17.1	15.7	23.3
2014年	9.3	16.6	15.3	23.1
2015年	10.0	16.4	15.7	23.6
2016年	9.3	16.4	16.4	24.1
2017年	9.1	15.8	15.4	23.6
2018年	9.5	16.8	15.9	23.5
2019年	9.8	16.5	16.2	23.9
2020年	10.0	16.5	16.2	23.8

出典：気象庁「過去の気象データ」をもとに作成

問6 下線部(1)に関連して、以下の図3は表2と同じ4地点の1971～2020年の50年間の年平均気温の推移で示したものである。なお、図中の縦軸は各地点の50年間の平均値との差(偏差)で表している。次の(ア)～(エ)の内容が表2および図3より読み取れる内容として、適切ならば○を、不適切ならば×を、それぞれ答えなさい。

- (ア) 1971～2020年の50年間では、4地点すべてにおいて、年平均気温は様々な変動を繰り返しながら上昇傾向にある。
- (イ) 1971～2020年の50年間データをみると、4地点すべてにおいて、範囲は2℃より小さい。
- (ウ) 2011～2020年の10年間データと1971～2020年の50年間データを比較すると、4地点すべてにおいて10年間データの方が範囲が大きい。
- (エ) 2011～2020年の10年間データについて、東京と那覇を比較すると、那覇の方が年平均気温は上昇傾向にある。

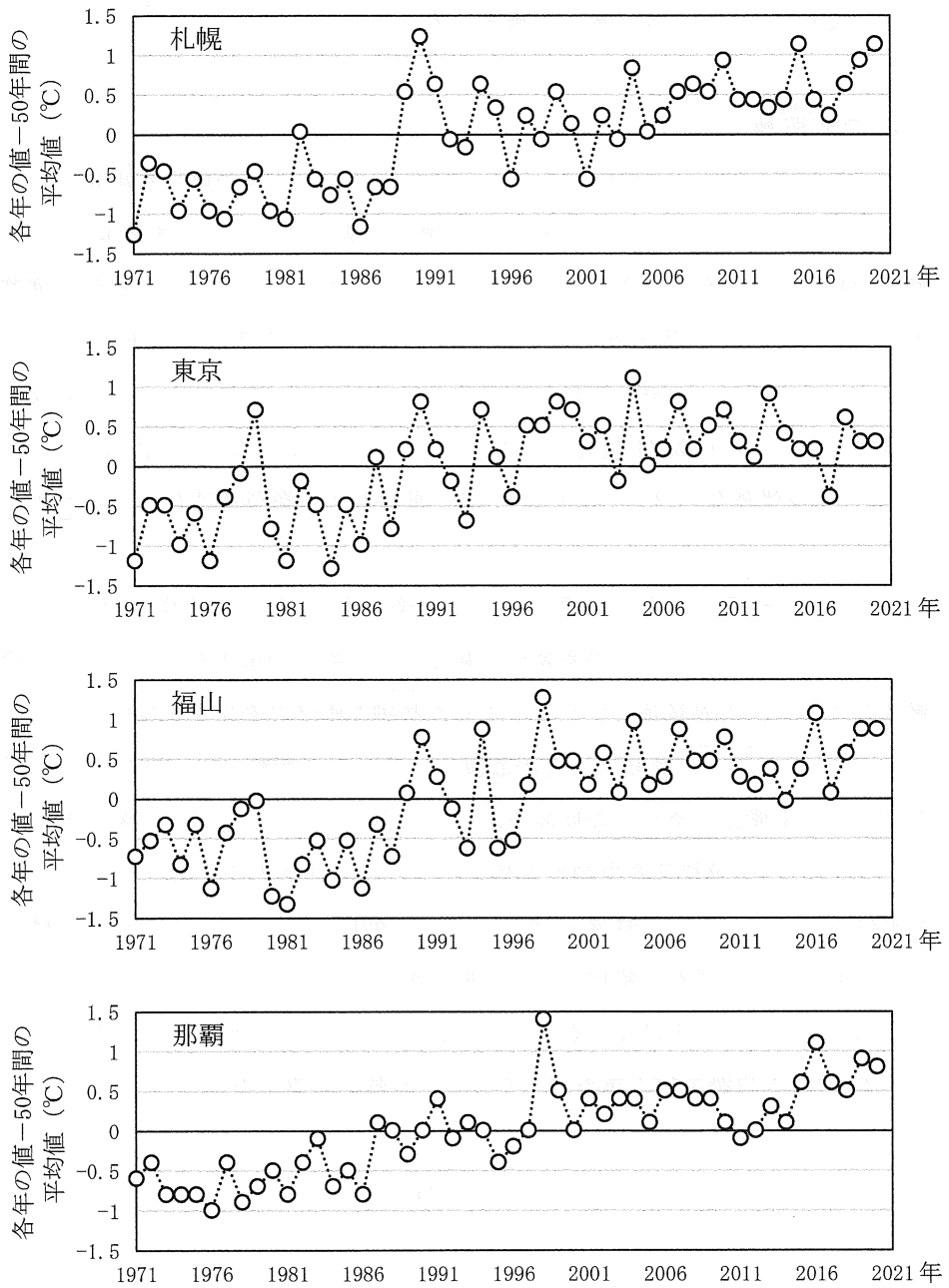


図3 各地点の年平均気温偏差

出典：表2に同じ

IV

次の文章を読んで、後の問1～問5に答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から、公開していません。

出典：櫻井芳雄『まちがえる脳』岩波新書、2023年（一部改変）

問 1 下線部(a)~(d)を漢字で答えなさい。

問 2 下線部(1)は、日本語で「人工知能」を意味する略語である。この略語の元となった2語の英単語を答えなさい。

問 3 ~ に当てはまる語を以下の(ア)~(エ)の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。なお、語は複数回使用するものがある。

(ア) そして

(イ) あるいは

(ウ) たとえば

(エ) しかし

問 4 下線部(2)について、以下の文章は筆者が「とてもありそうにない」とする理由を本文に即して説明したものである。 に入る文章を次の2語を使いながら、40字程度で答えなさい。なお、文字数には句読点や括弧等を含む。

心 現象

と筆者は考えているから。

問 5 本文の内容と一致するものを次の(ア)~(オ)の中からすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) AI が得意とする画像認識の分野では、ディープラーニングとコンピュータの高速化が相まって、人の認識には影響しないほどの画像ノイズをも検出することができるとともに、それらを適切に処理できるようになってきている。
- (イ) イ・セドル九段を打ち負かした AI は、囲碁の場面で高性能に機能するばかりでなく、言語も自由に使うことができる。
- (ウ) AI が心を持ちうると主張する人たちは、AI がコンピュータという機械で動作するプログラムであるかぎり、その技術の進歩は果てしなく続き、やがてシンギュラリティ (技術的特異点) に到達すると考えている。
- (エ) 現在では AI の性能向上により、どんな名人が指す将棋より AI のほうが強くなっているが、だからといって将棋を楽しむことが不可能になったというわけではない。
- (オ) コンピュータの処理能力がすでに限界に近づきつつあることから、AI が論理演算からなるプログラム以上のものになることは考えにくく、それよりも AI の誤用や悪用について懸念すべきである。

(問題は以上です。次ページ以降は白紙です。)